

IAMAS 2017 情報科学芸術大学院大学 第15期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会

# IAMAS 2017

Graduation and Project Research Exhibition

18人の最先端研究の集大成！  
岐阜の学生から世界への新しい提案

## ■ ごあいさつ

このたび、2月23日（木）から2月26日（日）にかけて、岐阜県立の大学院である情報科学芸術大学院大学（岐阜県大垣市・以下 IAMAS）は、「IAMAS 2017」と称して、修了研究／プロジェクト研究の発表会を開催します。デザイン／アート／ITを中心に、それぞれの垣根を超えて、「すごい・面白いこと」から、「一見何をしているのかよくわからないこと」まで、さまざまな制作に取り組んでいる IAMAS の、年に一度の研究発表・制作展示会です。

開学から20年の節目を迎え、世界的に活躍する卒業生も現れつつある中で、IAMAS はいま何をしているのか。学年20人あまりの岐阜県立の小さな大学院が、地域に、世界に何を投げかけるのか。日常では触れることのない、先端テクノロジーと先端表現の発表会を通じ、当校の活動と理念をより多くの方に知っていただきたく、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、何卒、ご来場・ご取材のご検討をお願いいたします。

IAMAS 2017 実行委員長 佐野 和哉

【日 時】 **2017年2月23日（木）－2月26日（日）**

【会 場】 ソフトピアジャパン・センタービル 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7

【開場 時間】 **10:00-18:00（初日のみ13:00から18:00まで）** 【入場無料】

【公式サイト】 <http://www.iamas.ac.jp/exhibit17/>

【主 催】 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

## ■ IAMAS 2017 テーマ

わたしたちは、意識せずとも、いろいろなものにとらわれていることがあります。  
例えば、先入観。世の中の空気。前例。自分の考え。

そういったものに対して、まずは自分自身を開くこと、  
すぐそばにいる人に啓くこと、まだ知らないなにかを拓くこと。  
それは言葉で示すよりもずっと、難しいことです。  
新しい道へと挑んでいく、ひとりでもやり続ける熱量がなくてはなりません。

### 「ひらく」

わたしたちはこの場所で「ひらく」取り組みを繰り返してきました。  
人が何かを「ひらく」とき、そこには膨大な熱量が生まれます。  
生まれた熱量は、放射状に大きくひらかれていきます。  
ちょうど20年前、この学校が「ひらく」ときから、それは繰り返されてきました。

これまでむすばれてきたものを  
世界になかったあらたな関係性を  
この息苦しさに覆われた時代を

わたしたちひとりひとりが「ひらく」その瞬間の熱を、  
どうぞその目で、耳で、肌で、感じてください。

## ■ IAMAS とは

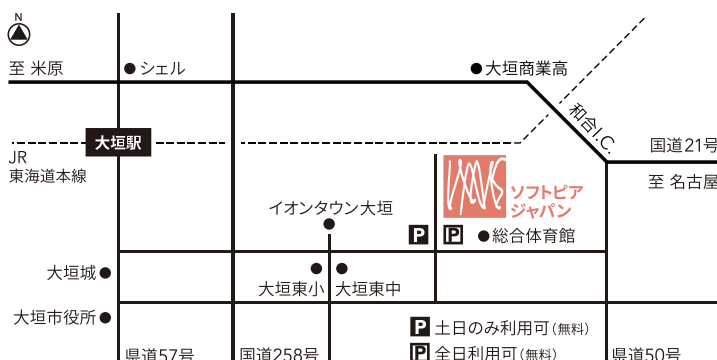


IAMAS (情報科学芸術大学院大学) は、岐阜県の情報産業拠点ソフトピアジャパンプロジェクトの一環として、1996年に岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーとして開学し、2001年に修士課程のみの大学院大学として設立された学校です。充実した講師陣による少数定員の大学院大学として海外にも広く知られ、英文名称 Institute of Advanced Media Arts and Sciences から IAMAS (イアマス) と呼ばれています。



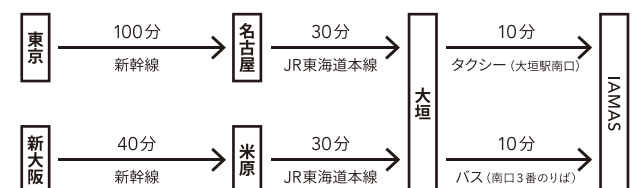
芸術と科学の融合を建学の理念に掲げてスタートした IAMAS は、最新の科学技術や文化を吸収しながら、新しいものづくりやデザイン、先端的な芸術表現などを社会に還元する高度な表現者の育成を目指しています。IAMAS の教育の先端性は、工学、デザイン、芸術、人文学など、様々な異なる分野の学生たちによるユニークな研究を生み出します。専門性を習得し、様々な知を統合し、それを新たな領域まで拡張することによって、修了後は表現者として社会における新しい領域で活動し、それを展開する能力を身につけます。

## ■ アクセス



### 《お車でお越しの方》

国道21号線 和合ICから車で約2分・名神高速道路 大垣ICから車で約20分  
岐阜羽島ICから車で約25分



### ● 広報に関するお問い合わせ

取材にお越しいただく際は、件名に「IAMAS 2017 取材申込」とご記入の上、事前に下記メールアドレスまでご連絡をお願いします。

IAMAS 事務局 MAIL: event@ml.iamas.ac.jp TEL: 0584-75-6600 FAX: 0584-75-6637

## ■ 出展者一覧

【 第15期生修了研究発表者 】

上田 真平 / おおしまたくろう / 岡崎 友恵 / 具志堅 裕介

佐藤 大海 / 佐野 和哉 / 篠田 幸雄 / 嶋田 元菜妃 / 清水 都花

ジョ ジェヨン / 杉山 雄哉 / 高見 安紗美 / 田中 翔吾

塚原 真梨佳 / 丹羽 彩乃 / 松野 峻也 / 宮野 有史 / 山本 美里

## ■ 作品紹介

※IAMAS 2017 で発表される作品の一部になります



### おおしまたくろう

#### PLAY A DAY

身近な道具を改変した自作の楽器・音響装置を即興的に組み合わせてPLAYするパフォーマンス作品。見慣れた道具が一風変わった姿で登場し、複雑に絡み合いながら何やら音楽のようなアンサンブルを奏でる。音楽や楽器の名を借りた遊びやユーモアを通して、通常あたりまえとされる行為や価値を転倒させる。



### 佐野 和哉

#### インターネット地域メディア「オホーツク島」とその制作活動

アメリカ人社会学者リチャード・フロリダは「クリエイティブな地域にクリエイティブな人々が集まる」という趣旨のことを述べている。私はウェブメディアを用いて、故郷である北海道オホーツク海側地域に関係して、クリエイティブな人々によるコミュニティを形成することを試みた。



### 嶋田 元菜妃

#### 尾行的運動描画 - 渋谷スクランブル交差点 [1/8] の場合

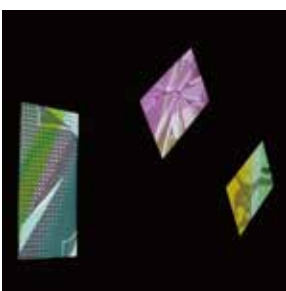
他人の後ろを追いかける尾行的な運動に生じる身体運動を、撮影者視点から描く作品シリーズ。一枚の写真には、運動性を伴う無数の被写体像が交錯する。本作は連日多くの人が行き交う交差点、東京都渋谷区道玄坂下スクランブル交差点で実施した<尾行的運動描画>を、移動経路と共に1/8サイズの空間に再構成する。



### 田中 翔吾

#### Motion Player

モバイル3Dスキャナによって動画のように連続的な3Dスキャンを行い、ものの立体的な動き・時刻・視点の移動を同時記録し、その動きをビューアでさまざまな見方から再生する作品。新しい記録メディアとしての時空間スキャンデータの性質を理解し、その可能性を探求する（あるいは遊ぶ）ためのツール。



### 丹羽 彩乃

#### “for the light surface” series

“for the light surface” seriesとは、加工したディスプレイにプロジェクションする手法で新たな質感を模索する試み。本作品では、スマートフォンのディスプレイ面の質感に着目し、個人の生活・振る舞いの差によって異なるそれらの様相を表示画面へのドローイングとアニメーションで表現する。

## ■ プロジェクト研究発表について

プロジェクトは修士研究を行う枠組みとしての役割を果たす重要な科目です。メディア表現の社会的な意味をはかり、社会へ向けた成果の発信や外部との連携を強く意識し、領域横断的に運営されます。協働活動によって複数の領域のノウハウ、経験を効果的に統合し、より高度な研究成果、技術開発を目指すところにあります。また、広い視野と企画力、組織力、加えてアイデアを実現にまで導くマネジメント能力などを身につけることを目指します。「IAMAS 2017」では修士研究発表に加えて、これらプロジェクト研究の成果を展示します。

### ● 出展プロジェクト

アートを / で考える  
あしたをプロトタイプングする  
あたらしい TOY  
HDII 高精細映像技術を用いた表現研究  
Craft, Fabrication and Sustainability  
これからの創造のためのプラットフォーム  
3D スキャニング技術を用いたインタラクティブアートの時空間アーカイブ

メディア・地域・鉄道  
体験拡張環境  
IAMAS 図書館・アーカイブ  
根尾コ・クリエイション  
福祉の技術  
金生山プロジェクト

### ● 有志企画

RCIC (産業文化センター)  
NxPC.Lab  
クリティカル・サイクリング



### ● プロジェクト紹介ツアー / 【場所】3F ソピアホール エントランス

展示会場を巡回しながら、IAMAS のユニークなプロジェクトの活動内容や研究成果を説明します。またツアーの中で、IAMAS 開学から 20 年を知る吉田学長自ら、その歴史を語ります。※5 分前までにお集まりください / 事前予約は必要ありません。

2月23日(木) 13:30 - 15:00 ・ 2月25日(土) 13:30 - 15:00

2月26日(日) 13:30 - 15:00



### ● 振り返る IAMAS の 20 年 / 【場所】3F ソピアホール エントランス

産業文化研究センター [RCIC] は、IAMAS の産官学連携、文化活動、広報活動を担う IAMAS の附置機関です。今年度は、IAMAS 20 周年記念として開学からの歩みと、出版、卒業・修了展などの印刷物の展示を行ないます。

## ■ 主なスケジュール

### 2月23日(木)

13:00 - 13:30 オープニングセレモニー / ソピアホール前

### 2月25日(土)

15:00 - 16:00 トーク + パフォーマンスイベント / ソピアホール前 「いま、ここで、ひらくこと」ゲスト: 梅田哲也  
16:30 - 17:30 トークイベント / ソピアホール前 「ありふれた場所がひらかれるとき」ゲスト: mi-ri meter

18:00 - 20:00

ウェルカムパーティ (懇親会) / こみゅれす美濃味匠

20:00 - 24:00

NxPC.LIVE (地下駐車場クラブイベント) / ソフトピアセンタービル駐車場

### 2月26日(日)

15:00 - 17:00 トーク イベント / ソピア前ホール 「オキナワという空間」

18:00 - 18:30 クロージングセレモニー / ソピアホール前

## ■ 主なイベント

### Talk.1



「いま、ここで、ひらくこと (パフォーマンス&トーク)」

ゲスト：梅田哲也 25日 15:00-16:00 / ソピアホール前

梅田さん独自の視点で作られ、音を発する装置や仕掛けは、モノに潜在した能力を私たちに想起させます。今回、梅田さんにパフォーマンスを行っていただいた後、自身の創作についてトークをしていただきます。

#### 梅田哲也

サイトスペシフィックなインスタレーションを制作し、幅広く国内外で活躍する。近年の展覧会に「Double Vision: Contemporary Art from Japan」(モスクワ市近代美術館/ハイファ美術館 2012年)、「Simple Interactions. Sound Art from Japan」(ロスキレ現代美術館 2011年)、個展では「See, Look at Observed what Watching is」(ポートランド現代美術協会(PICA) 2016年)などがある。劇場の機能にフォーカスした舞台作品や、中心点をもたない合唱のプロジェクトなど、現地の人を巻き込んだコラボレーションも手がけ、Theater Spektakel(チューリヒ)、FUSEBOX(オースティン)など、パフォーマンスのフェスティバルでも数多く作品を発表している。

### Talk.2



「ありふれた場所がひらかれるとき」

ゲスト：mi-ri meter 25日 16:30-17:30 / ソピアホール前

私たちが過ごす日常の空間は、時代とともに目まぐるしく移り変わってきています。そのため本トークイベントでは公共空間へ介入する実践を軸に、私たちが普段過ごしている日常空間へアプローチする表現の可能性を探っていきます。

#### mi-ri meter

宮口明子と笠置秀紀によるユニット。建築、アートプロジェクト、フィールドワークなど、ミクロな視点と横断的な戦術で都市空間や公共空間に取り組む。日常を丹念に観察し、空間と社会の様々な規範を解きほぐしながら、一人ひとりが都市に関われる「視点」や「空間」を提示している。主な活動に「Tents 24」(セントラルイースト東京、2005年)、「アーツ前橋 交流スペース」(前橋市、2013年)、「仙台文学館を再編集する」(SSD せんだいスクールオブデザイン、2014年)、「川と路」(鳥取藝術祭、2015年)など。

### Project Talk



「これからの創造のためのプラットフォーム」

ゲスト：土屋誠一 26日 15:00-17:00 / ソピアホール前

第16回はゲストに土屋誠一さん(沖縄県立芸術大学准教授・美術評論)を迎え、「沖縄」と「アート」をテーマにIAMAS教員である安藤泰彦、松井茂、前林明次とともにトークセッションを行います。

#### 土屋誠一

1975年生まれ。美術評論家、沖縄県立芸術大学准教授。共著書に『拡張する戦後美術』(小学館)、『実験場 1950s』(東京国立近代美術館)、『現代アートの巨匠』(美術出版社)など。近年では「反戦」展(2014年)の組織など美術を介した社会運動、表現規制の問題へのコミットなどを通じて、沖縄での美術やその表象についての実践的取り組みを行っている。